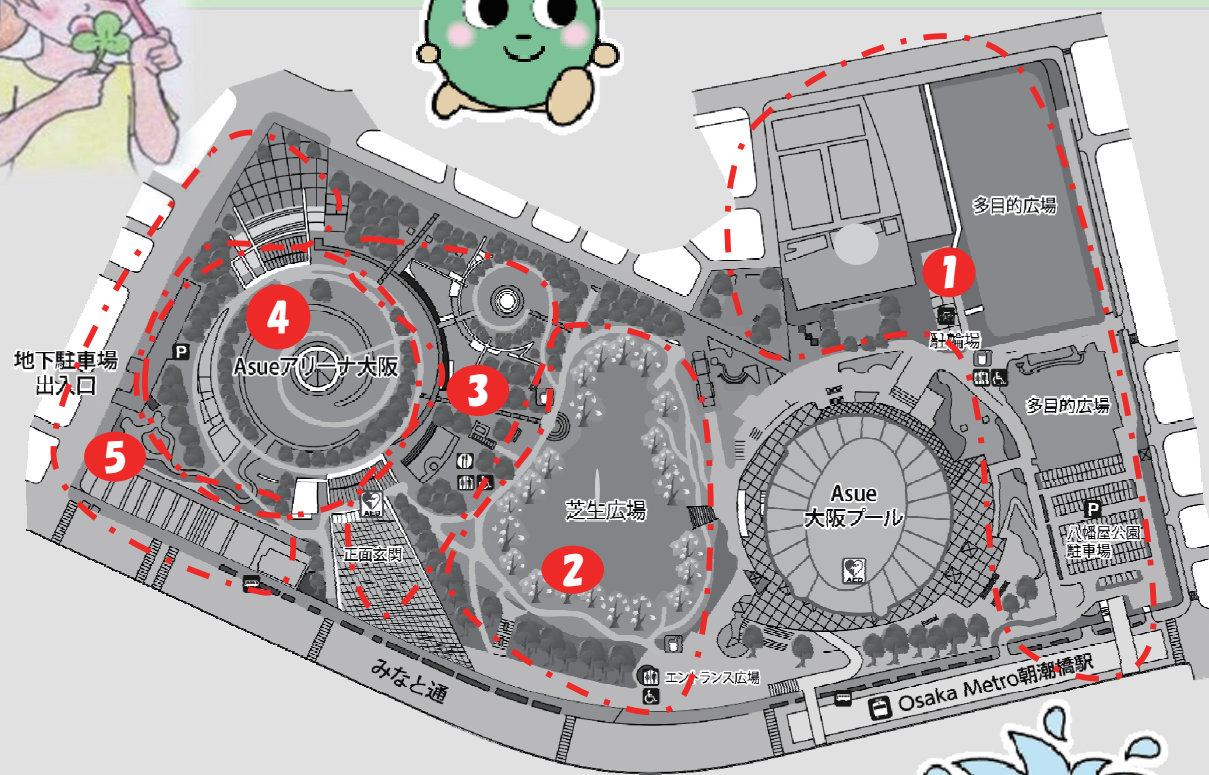
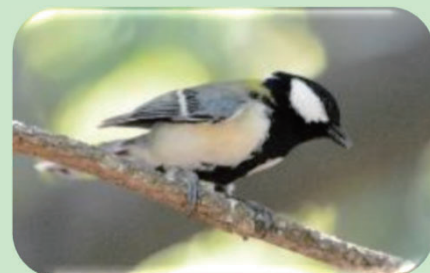


八幡屋公園って…？

1996年体育館や屋内プールを併設した都市公園として生まれ変わる。体育館の上部は土盛りされ小高い丘になっており、とくにメインアリーナ上部は“グリーンヒルズ”の愛称で親しまれています。また、公園の中央にはジンベイザメの形をした遊具があります。芝生広場は、市民の憩いの場として親しまれています。この芝生広場は大雨の時には雨水を貯めたり、災害時の避難場所としての役割もあります。



* 体育館上部のグリーンヒルズ



八幡屋公園

自然観察ガイドブック

自然を学び！自然とあそぼう！

都会の中のアオアシ！多くの樹木や花などの植物と鳥や昆虫などのいとなみが観察できます。このガイドブックを参考に自然に親しみ、自然とあそぼう！
きっと新しい発見や自然の魅力が体験できることでしょう！



初版発行 2019年3月



ここから、はじめよう。

八幡屋スポーツパークセンター

【編集・発行】(一財)大阪スポーツみどり財団 ・ 認定NPO法人シニア自然大学校



八幡屋公園：大阪市港区田中3-1

Osaka Metro中央線朝潮橋駅前

はじめに・・・

八幡屋公園はスポーツ施設を備えた都市公園ですが、長い年月を経て、豊かな緑や生き物たちの自然のいとなみが形成されています。
このガイドブックは、八幡屋公園で見られる植物や生き物たちの生きざまや活動をわかりやすく解説しています。
このガイドブックを通じて自然の不思議や魅力を感じて、自然を好きになり自然を大切にする人たちが増えることを願っています。

もくじ

- 自然のいとなみ…………… 2ページ
 生き物のピラミッド(食物連鎖)
- 植物と動物…………… 3ページ
- 植物と風…………… 4ページ
- 八幡屋公園の植物…………… 5ページ
- 種の保存…………… 6ページ
- 春の観察ポイント…………… 7～8ページ
- 夏の観察ポイント…………… 9～10ページ
- 秋の観察ポイント…………… 11～12ページ
- 冬の観察ポイント…………… 13～14ページ
- インデックス
 - ・ 八幡屋公園の樹木・草花…………… 15～16ページ
 - ・ 八幡屋公園の昆虫たち…………… 17ページ
 - ・ 八幡屋公園の鳥たち…………… 18ページ

* さらに詳しい内容は、次のホームページでご覧になれます。

八幡屋公園生き物図鑑→→→

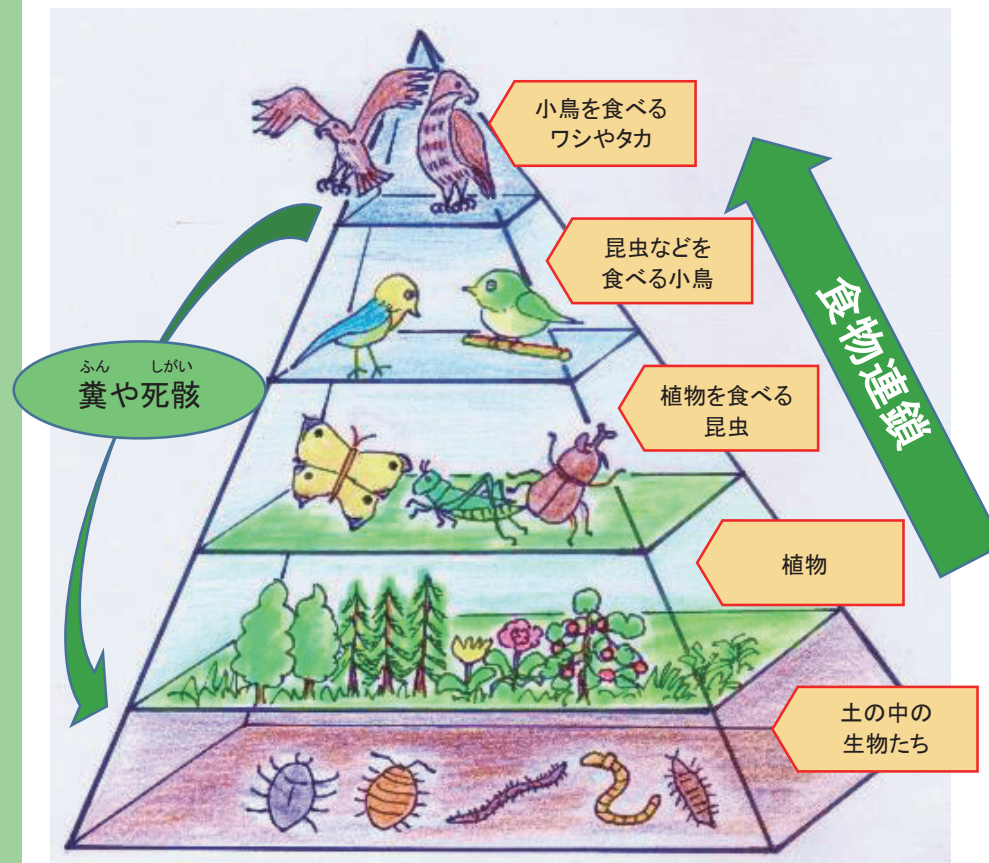


* 観察おすすめ場所 (表紙図面参照)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① = 多目的広場周辺 | ② = 芝生広場 |
| ③ = グリーンヒルズと芝生広場との間 | ④ = グリーンヒルズ(体育館屋上) |
| ⑤ = グリーンヒルズの西側周辺 | |



生き物のピラミッド(食物連鎖) について考えよう！



生き物の“食べる食べられる”という関係を食物連鎖しょくもつれんさというんだね！

植物を草食昆虫そうしよく こんちゆうが食べ、その昆虫を肉食昆虫こんちゆう にくしよく こんちゆうなどが食べ、それらを鳥たちが食べてみんな生きているんだね！

* 植物は自分で食べ物(栄養)をつくりだすことができる。

**** 光合成 ****

水 + CO₂ + 光 = デンプン等の養分

植物が無ければ動物は生きられない→植物はとても大事！

* 植物は二酸化炭素にさんかたんそを吸って、酸素さんそを放出！



あ～そうなんだ！

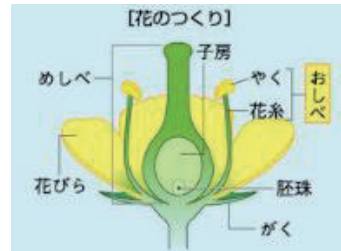
自然界では・・・

植物と動物など、お互いに協力しあっている！

花と虫



●花はミツバチやチョウに
受粉してもらい、
ミツバチやチョウは、
花から蜜をもらう。



花粉をつける

❓ おしべより

めしべの方が長い
のはなぜ？

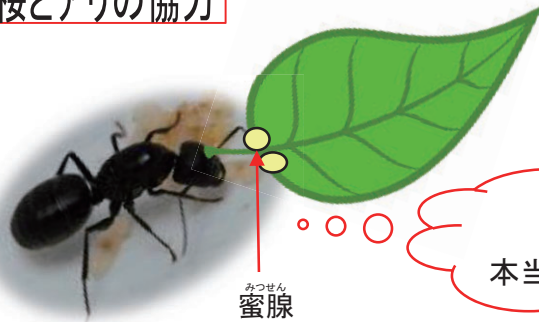
Ⓐ

虫が運んできた花粉を

先にめしべに付けてもらうため

花がきれいなのは
ミツバチなどの虫を
呼びよせるため

桜とアリの協力



●蜜腺から甘い汁を出して
アリを呼び寄せ、アリに害虫
を追いかけてもらう。

植物と動物って
本当はなかよしなんだね！

自然あそび

●カタバミの葉っぱで10円玉みがき

カタバミの葉っぱにはシュウ酸という酸が
含まれていて、これが10円玉の汚れを
落とします。



ピッカピカ

種を動物に運んでもらう！

植物と鳥

●鳥に実を食べてもらい、
種を遠くへ運んでもらう。



おいそうな
実！
食べちゃおう！

・クロガネモチ
・ハナミズキ
・モッコク

種をウンチで
出してみよう！

植物と動物

* ひつつき虫の正体

・オナモミ
・ヌスビトハギ
・イノコズチ



●動物たちにひっついて

種を遠くへ運んでもらう。(子孫繁栄)

種を風に運んでもらう！



いろはもみじの種

観察できる場所→④

いろはもみじの種は
ヘリコプターみたいに
風に乗って飛んで
いくよ！



種

ケヤキの葉っぱと種

観察できる場所→②

ケヤキは葉っぱに
種をつけたまま枝から
切り離して飛んでいく！

ジャカランダ



- 中南米原産の花木
- 6月頃に青紫色の花が咲く
- 大阪では八幡屋公園が一番本数が多く、有名！ 観察できる場所→ **④**
- * 世界の三大花木(ジャカランダ・カエンボク・ホウオウボク)

めずらしい樹木

カクレミノ

(愛称: グー・チョコ・パーの木)

観察できる場所→ **③**



一つの木に、形の違う葉っぱがあるよ！この葉っぱでジャンケンができるよ！



白実マユミ

* 名前の由来は昔は弓の材料として使っていたから。
実の色は普通のマユミはピンク
(白い部分が実、赤い部分は種)



観察できる場所→ **③**



皇帝ヒマワリ

秋に咲く
ヒマワリで背の高さは4mにもなるよ！

観察できる場所→ **②**

生物多様性(種の保存)について考えよう！

タンポポ



○カンサイタンポポ

在来種を保護しよう！
見つけたら大事にしようね
観察できる場所→ **④**

○在来種

●外来種

外来種のセイヨウタンポポの方が繁殖力が強く、在来種のカンサイタンポポがどんどん減っている。

また、近年雑種も見られる。

○カンサイタンポポ ↓

●セイヨウタンポポ ↓



* カンサイタンポポとセイヨウタンポポの見分け方は
総苞という部分がそりかえっているのがセイヨウタンポポ。
そりかえていないのがカンサイタンポポ。

気候変動によって南方から北上してきている昆虫

侵入種 キマダラカメムシ 近畿で勢力拡大中！



キマダラカメムシの交尾

こんなカメムシ、君は見たことない？
「キマダラカメムシ」というんだ。茶褐色の地に黄色い小点が散らばってきれいだろう。もともと南方系の昆虫で、九州では以前から記録があったけれど、ここ数年京阪神各地に分布を広げてきているんだ。地球温暖化の影響かもしれないね。冬の間も成虫で越冬している。繁殖力が強そうだね。



八幡屋公園はサクラの名所です。
いろいろなサクラが咲いています。



サクラ博士になろう！

サクラと日本人

平安時代くらいから知識人・文化人たちはサクラを花見の花とするようになった。
足利義満が「花の御所」をつくり、花見の宴をはったり、太閤秀吉の吉野の花見、
醍醐の花見など古来より、日本人はサクラを愛し、サクラの花見を楽しんできた。

サクラの冬越し・・・冬芽と葉痕

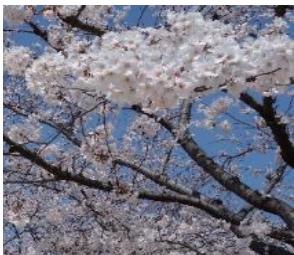
秋、気温の低下につれ10月をすぎころには、
離層が形成されて落葉し、葉痕がのこる。

冬芽はウロコ片(芽鱗)におおわれていて、
冬の寒さにたえられるようになっている。

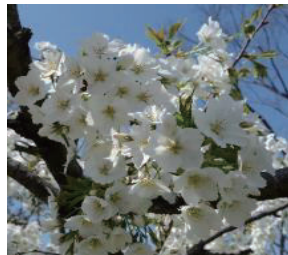
先端が葉芽、次の芽は花芽で芽の中には翌春の花ができてあがっている。



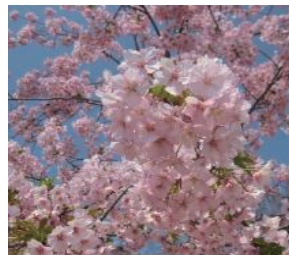
八幡屋公園のサクラの種類 他にコヒガンザクラ、サトザクラなど
* ほかにも色々あるよ！



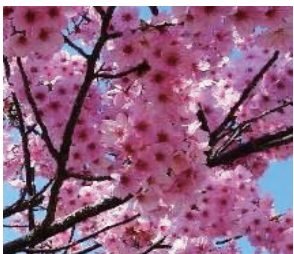
ソメイヨシノ



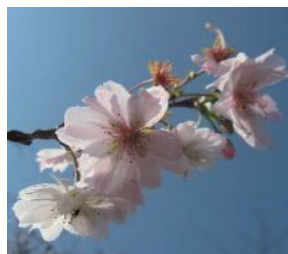
オオシマザクラ



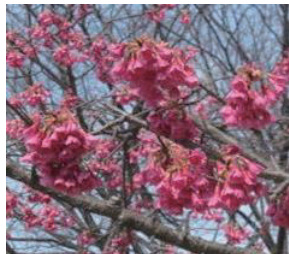
カワヅザクラ



ヨウコウ



ジュウガツザクラ



カンヒザクラ

春は芽生えや巣立ちの季節！
花や新芽をねらって鳥や昆虫たちも活動するよ！

植物や動物の生きざまや自然のなりわいを観察しよう！

鳥



あまい花の蜜や、やわらかい新芽をねらって
虫や鳥たちが集まってくる。

その虫をねらって鳥たちも・・・！

そんな様子を観察しよう！

桜の花の蜜を吸うヒヨドリ
(受粉や種子散布に貢献)



春に多く出会える昆虫

クマバチ

春になると公園ではいろんな花が咲きだすね。よく見ると花の近くの空中でホバリングしている
ずんぐりむっくりの大きなハチがいるよ。クマバチさ！ 黒い毛むくじらの体で花の蜜が大好き
なんて、動物のクマさんみたいだろう。

ホバリングするのはオス

空中でホバリングしている

クマバチ！

花の蜜を吸いにくるメスと、
カップルになりたくて縄張りを
張って待っているオスなんだ。



ホバリングするオス



ツツジにやってきたメス

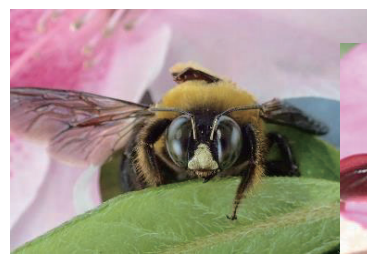
吸蜜にくるのはオス・メス両方！

オスとメスの顔くらべ

クマバチは大きな体でこわそう

メス「刺すわよ～っ！」

に見えるけど、花の蜜
が大好きなおとなしい
ハチだよ。刺すのは
メスだけ。オスには針
がないから刺さないよ。
メスもギュッとつかま
えない限りだいじょうぶ。



オス「刺さないヨ！」



夏に多く出会える昆虫！

クマゼミ

公園では朝早くからシャアシャア鳴いてるセミがいるね。
ハネがすきとおったクマゼミだ。大きくて体の色も黒いから、動物のクマに
たとえて名付けられたんだ。



クマゼミ

アブラゼミ

鳴き声を聞いてセミを探そう！

公園で見られるセミは2種類(クマゼミとアブラゼミ)だけど、ほとんどはクマゼミばかり。
朝から木の上でシャアシャアとうるさいくらい
鳴いているよ(鳴くのは午前中)。アブラゼミ
の鳴き声はジージリジリ 鳴くのはオスだけ、
メスに自分の居場所を知らせているんだ。

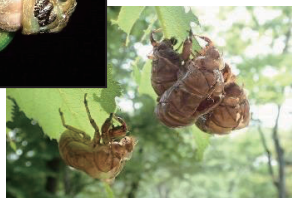
羽化の観察や抜けがら探しも！

セミは長いあいだ暮らしていた土の中から地
上に出てきて、日没後に羽化を始めるんだ。
運よく観察できたときは感動するよ。またセミ
の抜けがら探しもあわせてやると楽しいよ。
どんなセミがいるか、オスかメスかも分かるよ。



クマゼミの
抜けがら↓

↑羽化する
クマゼミ

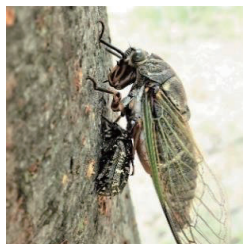


シロテンハナムグリ

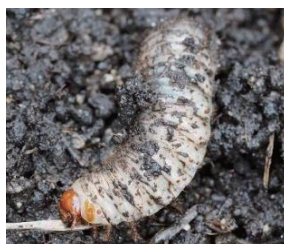
都会の公園だからカブトムシやクワガタムシはいないけれど、シロテンハナムグリという
コガネムシの仲間がたくさん見られるよ。セミと同じように木の汁(樹液)が好物で、ケヤキ
やカシの幹や枝に止まっているのが見られるよ。



樹液に群がるシロテンハナムグリ



クマゼミと仲良くお食事中



まるまる太った幼虫

この公園で見られる一番大きな甲虫。樹液だけでなく、サルスベリの花なんかにもやってくる。
また、幼虫で冬を過ごしているから、大きな木の根元のふかふかした土の中に白い幼虫がいるよ！

似た者同士を比べてみよう！

ちがいがわかるかな？



よく似ているけど
おしべの長さが全然
ちがうね。

観察できる場所→ ②



キンシバイ



ビヨウヤナギ



シマサルズベリ



サルズベリ

サルズベリの花は
ピンクも白もあるけど
シマサルズベリは
白花しかないんだ。

観察できる場所→ ②

セイヨウアジサイの元にな
ったのがガクアジサイ
なんだ。まわりがガクブチ
みたいだろ。

観察できる場所→ ④



ガクアジサイ



セイヨウアジサイ

自然あそび

●エノコログサでマジック？

にぎると
上がったたり、
下がったりするよ！



ひとつひとつが花と種！
いくつついているか数えて
みよう！



実(果実・種)と紅葉を考えよう！



ドングリについて

ドングリにもいろいろあるよ！
それぞれを観察して正しくおぼえてね！

●日本のドングリは22種類。

●八幡屋公園ではその内7種が見られる。



クヌギ	コナラ	アラカシ	シラカシ	ウバメガシ	スダジイ	マテバシイ
ドングリの王様	少し細長い	お皿は横縞模様		お尻が細い	食べられるよ	

紅葉の仕組み

秋になると気温が下がり
陽が当たる時間が短くなる

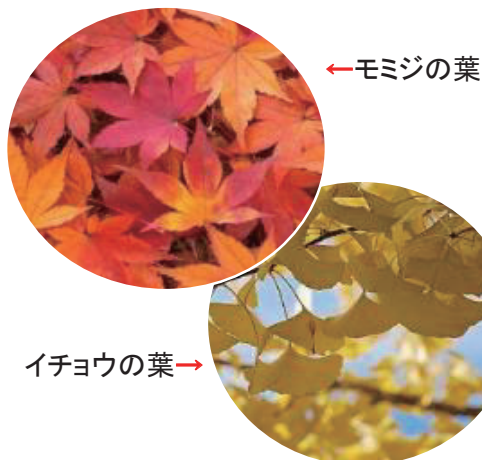
光合成をしにくくなるので

葉に含まれる葉緑素が分解
されて他の色素が目立つ

いらなくなった葉を落とす

葉にたまった糖分が赤や
黄色の色素に変化する

紅葉って
きれいだね！
秋になると
なぜ？葉っぱは赤くなるんだろう？

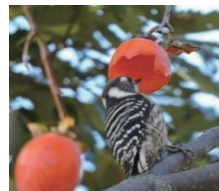


いろいろな実のなる樹木を観察しよう！



実(=種)は植物にとって、子孫繁栄のために
最も大切なものです。そこには、その植物ならではの
戦略が...そんなことを考えながら観察しよう！

* 4ページに植物の実と鳥の関係が書いてあるよ→実を食べる鳥



モッコク



マユミ



ハナミズキ



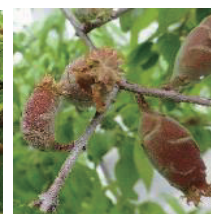
クロガネモチ



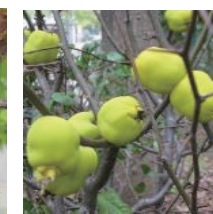
コブシ



エノキ



ロウバイ



ボケ

昆虫

秋に多く出会う昆虫！

オンブバッタ・アカハネオンブバッタ

秋は鳴く虫やジャンプが得意なバッタの季節だね。コオロギやトノサマバッタ
もいるけれど、公園で一番よく見られるのは、オンブバッタの仲間だよ。



オンブ状態のオンブバッタ



オンブバッタ

頭の先がとんがった緑色の小さなバッタ。時々オスが
メスの背中にのっているのは交尾しているんだ。
オンブされているのは子供ではないよ！



アカハネオンブバッタ

下ハネの赤いバッタ。南西諸島にすんで
大阪周辺に侵入して分布を広げている。
調査では、3/4がアカハネだった。

植物は寒い冬をどうすごしているのかな？
いろいろな準備をして
春になるのを待っているよ。



植物の冬越し

樹木

- ・**常緑樹**は夏から秋にかけて葉や枝や等に養分を貯えている。
(葉に糖分が多くなると寒さで凍りにくくなる)
- ・**落葉樹**は葉を落として活動を止め休眠する。



草花



ロゼット

- ・**二年草**は、寒さに強い種で冬越しする。
- ・**多年草**は地上の部分はかれても、土の中の根や球根を残して毎年冬越しする。

ロゼット

になる植物
* 葉っぱが地面にはいつくばって立ち上がって
いないのをロゼットと呼ぶ。
冬の寒風をさけ、地熱を受けやすく、日光を
できるだけ多く吸収して根からの水分の蒸発
をふせぐ、植物の知恵だね！

ナズナ タンポポ オニノゲシ スイバ ヒメムカシヨモギ

冬芽について

夏が終わると秋にかけて、ほとんどの樹木は
来年に向けて次の芽を準備するんだ。
それを冬芽という。
冬芽はウロコ状の皮や毛に包まれて寒さを防ぐ。
春になったら芽を出すよ！



●冬鳥 ■^{りゅうちょう}留鳥 □^{ひょうちょう}漂鳥

冬鳥を見つけて観察しよう！

冬は渡り鳥が多く日本にきます。水鳥が多い
のですが、八幡屋公園には水場がないため
少ないですが、がんばって見つけよう！



●ツグミ

体長が約24cmほど。
クチバシの色は黒く、
顔の下が黄色です。



●シロハラ

体長が約23cmほど。
オスは頭から喉・背部が^{のど}暗青色、腹部が^{はいぶ}赤褐色。
メスは全身が暗い茶褐色。



●冬鳥

主に日本で越冬し、
ロシアやシベリアなど北国で
繁殖する渡り鳥。



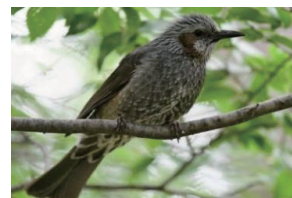
●ジョウビタキ

体長が約15cmほど。オスは頭の上が
白く、目の周りが黒いのが特徴です。
メスは頭が^{たん}淡褐色。

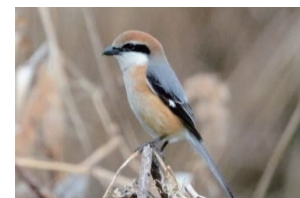
□漂鳥(ひょうちょう)

冬は暖かい平地で過ごし、夏は山
に入る、季節ごとに移動する鳥。

冬鳥以外の鳥もたくさんいるよ！



□ヒヨドリ

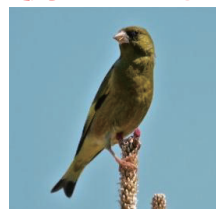


□モズ

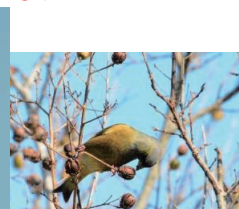


□ハイトカ

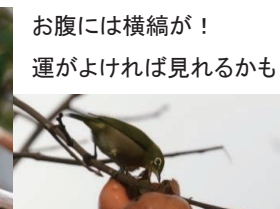
鳥たちが何を食べているのか観察しよう！



□カワラヒワ



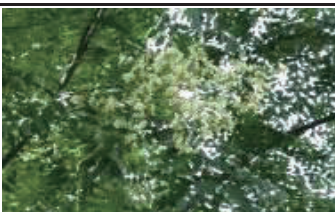
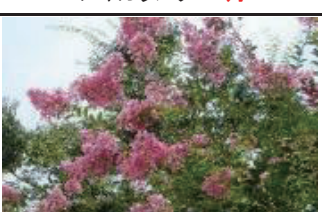
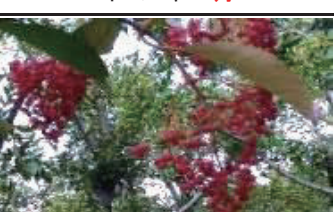
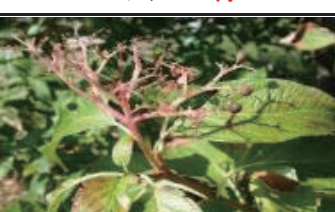
□メジロ



体長が約38cmほど。
お腹には横縞が！
運がよければ見れるかも！

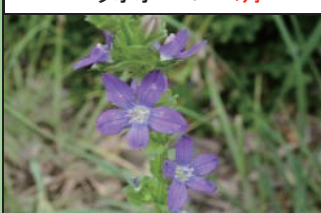
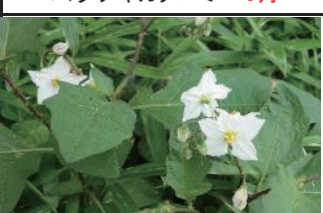
八幡屋公園で観察・記録された樹木

* 月＝花の見頃

		
ロウバイ 1月	ベニパスモモ 3月	ヤマツツジ 4月
		
コナラ 4月	キンシバイ 5月	サラサウツギ 5月
		
ジャカラнда 6月	ネムノキ 6月	エンジュ 7月
		
サルスベリ 7月	サンゴジュ 8月	クマノミズキ 6～7月
		
ナワシログミ 10月	ケヤキ 11月	サザンカ 12月

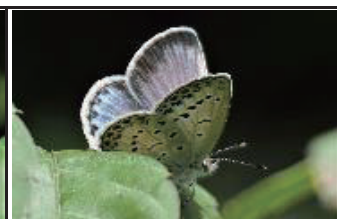
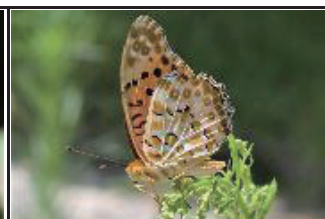
八幡屋公園の草花

* 月＝花の見頃

		
ニホンスイセン 1月	ハナニラ 3月	タチヌノフグリ 3月
		
セキショウ 3月	カンサイタンポポ 4月	カタバミ 4月
		
ヘラオオバコ 4月	コバンソウ 4月	ムラサキカタバミ 5月
		
キキョウソウ 5月	キヌゲチコグサ 5月	ワルナスビ 5月
		
キカラスウリ 7月	ヒガンバナ 9月	皇帝ヒマワリ 11月

八幡屋公園の昆虫たち

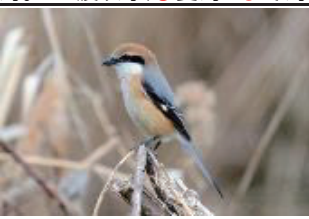
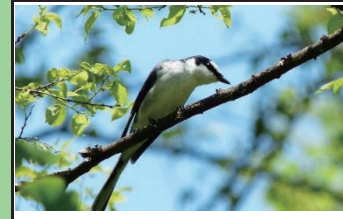
* 赤字=よく見られる季節

		
アオスジアゲハ 春～夏	ヤマトシジミ 春～秋	ツマグロヒョウモン 夏～秋
		
シオカラトンボ 初夏～秋	ウスバキトンボ 初夏～夏	クマゼミ 夏
		
キマダラカメシ 春～秋	クマバチ 春～夏	セグロアシナガバチ 春～夏
		
トモンハナバチ 夏	シロテンハナムグリ 夏～秋	ナミtentウ 初夏～夏
		
オンパッタ 夏～秋	アオメアブ 初夏～夏	ドウガネホシメハナアブ 春～秋

八幡屋公園の鳥たち

■ 留鳥: 年間を通じて同じ場所に生息し、季節による移動をしない鳥。

□ 渡り鳥: 夏に山地で繁殖する鳥で冬は平地に移動して越冬する鳥。 * 渡り鳥 (○ 夏鳥 ● 冬鳥)

		
○メボソムシクイ	■スズメ	■□モズ
		
○サンショウグイ	■キジバト	■□ハイタカ
		
●ツグミ	■ハシボソガラス	■□メジロ
		
●シロハラ	■ハシトガラス	□ヒヨドリ
		
●ジョウビタキ	■ウグイス	■シジュウカラ